

(19) 日本国特許庁(JP)

再公表特許(A1)

(11) 国際公開番号

W02016/017227

発行日 平成29年4月27日 (2017. 4. 27)

(43) 国際公開日 平成28年2月4日 (2016. 2. 4)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
<b>A61B 1/12 (2006.01)</b>	A61B 1/12	2 F002
<b>G06Q 50/22 (2012.01)</b>	G06Q 50/22	4 C161
<b>G04G 99/00 (2010.01)</b>	G04G 1/00	5 L099

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 19 頁)

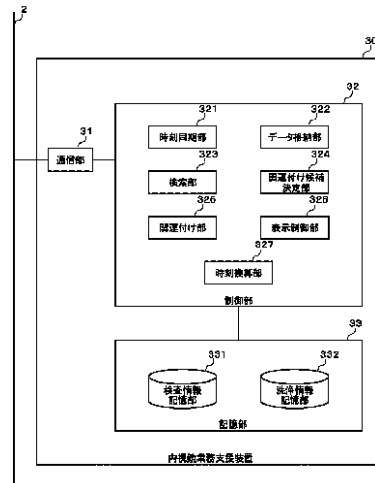
出願番号 特願2016-504232 (P2016-504232)	(71) 出願人 000000376 オリンパス株式会社 東京都八王子市石川町2951番地
(21) 国際出願番号 PCT/JP2015/063456	(74) 代理人 100105924 弁理士 森下 賢樹
(22) 国際出願日 平成27年5月11日 (2015. 5. 11)	(74) 代理人 100109047 弁理士 村田 雄祐
(11) 特許番号 特許第5933870号 (P5933870)	(74) 代理人 100109081 弁理士 三木 友由
(45) 特許公報発行日 平成28年6月15日 (2016. 6. 15)	(72) 発明者 高橋 佳子 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリンパス株式会社内
(31) 優先権主張番号 特願2014-157397 (P2014-157397)	(72) 発明者 尾本 昌和 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリンパス株式会社内
(32) 優先日 平成26年8月1日 (2014. 8. 1)	
(33) 優先権主張国 日本国 (JP)	

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 内視鏡業務支援装置

(57) 【要約】

検索部 3 2 3 は、洗浄情報に含まれる内視鏡の識別情報に対応する内視鏡の識別情報を含む検査情報であり、当該検査情報に含まれる検査終了時刻が洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻より過去である検査情報を検索する。関連付け候補決定部 3 2 4 は、検索条件を満たす検査情報の内、洗浄開始時刻に最も近い検査終了時刻を含む検査情報を、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報の候補に決定する。時刻換算部 3 2 7 は洗浄情報に含まれる標準時間の洗浄開始時刻を夏時間の洗浄開始時刻に換算する。検索部 3 2 3 は、換算された夏時間の洗浄開始時刻を用いて再検索する。



- 30 Endoscope operation assistance device
- 31 Communication unit
- 32 Control unit
- 33 Storage unit
- 321 Timing synchronization unit
- 322 Data retaining unit
- 323 Search unit
- 324 Association candidate determination unit
- 325 Association unit
- 326 Display control unit
- 327 Timing conversion unit
- 331 Commission information storage unit
- 332 Washing information storage unit

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

内視鏡システムから取得する検査情報を記憶する検査情報記憶部と、  
内視鏡を洗浄するための洗浄装置から洗浄情報を受信すると、当該洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻と、前記検査情報記憶部に記憶される検査情報に含まれる検査終了時刻をもとに、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報を探索する制御部と、を備え、

前記制御部は、

前記洗浄情報に含まれる内視鏡の識別情報に対応する内視鏡の識別情報を含む検査情報であり、当該検査情報に含まれる検査終了時刻が前記洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻より過去である検査情報を検索する検索部と、

検索条件を満たす検査情報の内、前記洗浄開始時刻に最も近い検査終了時刻を含む検査情報を、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報の候補に決定する候補決定部と、

前記検索条件を満たす検査情報が存在せず、かつ前記洗浄開始時刻が、夏時間から標準時間に切り替わってから両者の時差に相当する期間に含まれる時刻である場合、前記洗浄情報に含まれる標準時間の洗浄開始時刻を夏時間の洗浄開始時刻に換算する時刻換算部と、を含み、

前記検索部は、換算された夏時間の洗浄開始時刻を用いて再検索することを特徴とする内視鏡業務支援装置。

**【請求項 2】**

前記制御部は、前記洗浄装置から洗浄情報を受信する度に、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報を探索し、

前記検索部は、前記洗浄情報に含まれる内視鏡の識別情報に対応する内視鏡の識別情報を含む検査情報であり、当該検査情報に含まれる検査終了時刻が前記洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻より過去である検査情報であり、かつ別の洗浄情報に関連付けられていない検査情報を検索することを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡業務支援装置。

**【請求項 3】**

前記検査情報に含まれる検査終了時刻は、その検査において内視鏡により患者の体内を撮影した最後の撮影時刻で規定されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の内視鏡業務支援装置。

**【請求項 4】**

前記制御部は、

前記候補決定部により決定された検査情報の候補を、前記洗浄情報に関連付けるか否かをユーザに選択させるための画面を表示させる表示制御部を、さらに備え、

前記表示制御部は、夏時間の検査終了時刻を含む検査情報と、標準時間の洗浄開始時刻を含む洗浄情報を画面に表示させる際、ユーザが両者の時刻表記の違いを認識できるように表示させることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の内視鏡業務支援装置。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、内視鏡業務を支援する内視鏡業務支援装置に関する。

**【背景技術】****【0002】**

内視鏡業務支援システムの中には、内視鏡スコープ（以下、単にスコープと表記する）を用いて患者の体内を撮影した最終撮影時刻と、スコープの洗浄開始時刻を照合して、検査情報と洗浄情報に関連付けする機能を搭載するものがある。関連付けにあたり、システム時刻と洗浄装置の時刻にずれがあると、検査情報と洗浄情報の関連付けができなくなる場合がある。これを回避するために、システムと洗浄装置間で時刻同期を行っている。

**【先行技術文献】****【特許文献】****【0003】**

10

20

30

40

50

【特許文献1】特開2009-216697号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

システムと洗浄装置が時刻同期をしている場合であっても、サマータイム（夏時間）から通常の標準時間にシステム時刻が変更される際に、最終撮影時刻よりも洗浄開始時刻のほうが早くなり、関連付けに不整合が生じることがある。また一度不整合が生じると、以降の検査の関連付けにも不整合が生じる可能性がある。

【0005】

これを防ぐために、最終撮影時刻をサマータイムから標準時間に変換する、もしくは洗浄開始時刻を標準時間からサマータイムに変換することは、データ改竄となるため行えない。よって関連付けに不整合が生じた場合、運用回避として新たに手動で洗浄オーダを作成し、検査で使用したスコープと洗浄されるスコープとの関連付けを行っている。この際、どの検査で不整合が生じたのか調査した上で関連付けを修正する作業が必要となり、ユーザ操作が煩雑になっている。

10

【0006】

本発明はこうした状況に鑑みなされたものであり、その目的は、サマータイムから標準時間に変更される際に発生する可能性がある、検査情報と洗浄情報の不整合を防止する技術を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

20

【0007】

上記課題を解決するために、本発明のある態様の内視鏡業務支援装置は、内視鏡システムから取得する検査情報を記憶する検査情報記憶部と、内視鏡を洗浄するための洗浄装置から洗浄情報を受信すると、当該洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻と、前記検査情報記憶部に記憶される検査情報に含まれる検査終了時刻をもとに、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報を探索する制御部と、を備える。前記制御部は、前記洗浄情報に含まれる内視鏡の識別情報に対応する内視鏡の識別情報を含む検査情報であり、当該検査情報に含まれる検査終了時刻が前記洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻より過去である検査情報を検索する検索部と、検索条件を満たす検査情報の内、前記洗浄開始時刻に最も近い検査終了時刻を含む検査情報を、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報の候補に決定する候補決定部と、前記検索条件を満たす検査情報が存在せず、かつ前記洗浄開始時刻が、夏時間から標準時間に切り替わってから両者の時差に相当する期間に含まれる時刻である場合、前記洗浄情報に含まれる標準時間の洗浄開始時刻を夏時間の洗浄開始時刻に換算する時刻換算部と、を含む。前記検索部は、換算された夏時間の洗浄開始時刻を用いて再検索する。

30

【0008】

なお、以上の構成要素の任意の組み合わせ、本発明の表現を方法、装置、システム、記録媒体、コンピュータプログラムなどの間で変換したものもまた、本発明の態様として有効である。

【発明の効果】

【0009】

本発明によれば、サマータイムから標準時間に変更される際に発生する可能性がある、検査情報と洗浄情報の不整合を防止できる。

40

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本発明の実施の形態に係る内視鏡業務支援システムの構成を示す図である。

【図2】図1の内視鏡業務支援装置の内部構成を示す図である。

【図3】図1の端末装置及び洗浄装置の内部構成を示す図である。

【図4】検査情報と洗浄情報の関連付け方法の基本概念を示す図である。

【図5】サマータイムから標準時間に移行する日のAM2:00前後に発生した業務を時系列に記述した図である。

50

【図6】サマータイムから標準時間に移行する日のAM1:15の洗浄開始時刻を、AM2:15の洗浄開始時刻に換算することにより、AM1:55の最終撮影時刻を含む検査情報との関連付けが可能となる様子を示す図である。

【図7】図7(a) - (d)は、サマータイムの最終撮影時刻を含む検査情報と、標準時間の洗浄開始時刻を含む洗浄情報を画面に表示させる際の表示例を示す図である。

【図8】本発明の実施の形態に係る、洗浄情報と検査情報の関連付け処理の流れを示すフローチャートである。

【図9】図9(a) - (b)は関連付け後の検査情報と洗浄情報の一例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0011】

図1は、本発明の実施の形態に係る内視鏡業務支援システム1の構成を示す図である。内視鏡業務支援システム1は内視鏡部門に設置され、内視鏡業務を支援するためのシステムである。内視鏡業務支援システム1は、複数の内視鏡システム10a、10b(以下、特に区別しない場合には「内視鏡システム10」とよぶ)、内視鏡業務支援装置30、複数の端末装置40a、40b(以下、特に区別しない場合には「端末装置40」とよぶ)、及び洗浄装置50を備え、それらはLANなどのネットワーク2によって相互接続される。図1では内視鏡業務支援装置30と端末装置40が別筐体の例を描いているが、内視鏡業務支援装置30と端末装置40が一体型で構成されてもよい。

【0012】

内視鏡業務支援システム1は医療施設内の別のシステムと連携が可能である。例えばネットワーク2に図示しないゲートウェイ装置が接続され、このゲートウェイ装置を介して内視鏡業務支援システム1は、オーダリングシステム、電子カルテシステム、レセプトシステムなどと連携可能である。

【0013】

内視鏡システム10はスコープ11、内視鏡処理装置12及び表示装置13を備える。スコープ11は患者の体内に挿入され、医師がスコープ11のリリーススイッチを押したタイミングで体内を撮像する。スコープ11は固体撮像素子(例えばCCDイメージセンサ、CMOSイメージセンサまたはCMOSイメージセンサ)及び信号処理回路を備える。固体撮像素子は入射光を電気信号に変換し、信号処理回路は、固体撮像素子により光電変換された画像データに対してA/D変換、ノイズ除去などの信号処理を施して内視鏡処理装置12に出力する。

【0014】

内視鏡処理装置12は、スコープ11により撮像された画像を取得する。内視鏡処理装置12は、取得した画像を表示装置13に出力して表示装置13に表示させる。撮像中の画像をリアルタイムに表示させることもできる。また内視鏡処理装置12は、スコープ11から取得した画像を内視鏡業務支援装置30に送信して、内視鏡業務支援装置30内の記憶部にファイリングする。

【0015】

内視鏡業務支援装置30は内視鏡業務支援システム1全体を統括的に制御する。内視鏡業務支援装置30は例えば、サーバで構成される。端末装置40は医師、看護師など医療機関に従事するユーザが使用する端末装置であり、例えばPC、タブレット、PDAなどで構成される。タブレット、PDAなどの携帯端末装置が使用される場合、ネットワーク2に図示しないアクセスポイントが設置され、無線LANによりネットワーク2に接続される。洗浄装置50は、検査や処置で使用済みのスコープ11を洗浄および消毒するための装置である。

【0016】

内視鏡業務支援装置30は、内視鏡システム10から送信されてきた内視鏡画像データを受け取り記憶部に蓄積する。また内視鏡業務支援装置30は洗浄装置50の洗浄履歴を洗浄情報として記憶部に蓄積する。また内視鏡業務支援装置30は、ネットワーク2に接続された端末装置40からの操作に従い、内視鏡業務に関連する各種のアプリケーション

10

20

30

40

50

プログラムを実行し、端末装置 40 のユーザが行う業務を支援する。例えば検査レポート作成支援プログラムを実行して、医師による検査レポートの作成を支援する。医師が端末装置 40 を操作して検査レポートの入力を行うと、内視鏡業務支援装置 30 は端末装置 40 から送信されてきた検査レポートを受け取り記憶部に蓄積する。

【0017】

図 2 は、図 1 の内視鏡業務支援装置 30 の内部構成を示す図である。内視鏡業務支援装置 30 は通信部 31、制御部 32 及び記憶部 33 を備える。制御部 32 は時刻同期部 321、データ格納 322、検索部 323、関連付け候補決定部 324、関連付け部 325、表示制御部 326 及び時刻換算部 327 を含む。本実施の形態では、検査情報と洗浄情報の関連付け機能（紐付け機能ともいう）に注目するため、図 2 の制御部 32 の機能ブロックとして、検査情報と洗浄情報の関連付け機能に関連する機能のみを描いている。

10

【0018】

制御部 32 の機能はハードウェア資源とソフトウェア資源の協働により実現できる。ハードウェア資源としてプロセッサ、ROM、RAM、その他の LSI を利用できる。ソフトウェア資源としてオペレーティングシステム、アプリケーション等のプログラムを利用できる。

【0019】

記憶部 33 は例えば HDD、SSD など構成され、検査情報記憶部 331 及び洗浄情報記憶部 332 を含む。本実施の形態では、検査情報と洗浄情報の関連付け機能に注目するため図 2 の記憶部 33 の機能ブロックとして、検査情報と洗浄情報の関連付け機能に関連する機能のみを描いている。

20

【0020】

図 3 は、図 1 の端末装置 40 及び洗浄装置 50 の内部構成を示す図である。端末装置 40 は通信部 41、制御部 42、記憶部 43、表示部 44 及び操作入力部 45 を備える。洗浄装置 50 は通信部 51、制御部 52、記憶部 53、表示部 54、操作入力部 55 及び洗浄部 56 を備える。洗浄装置 50 の制御部 52 は時刻同期部 521 及び洗浄情報通知部 522 を含む。洗浄装置 50 の操作入力部 55 はタグ情報読取部 551 を含む。以下、図 2 及び図 3 を参照しながら、より具体的に説明する。

【0021】

内視鏡業務支援装置 30 の検査情報記憶部 331 は、内視鏡システム 10 から取得する検査情報を記憶する。検査情報は、医師の所見を含む検査レポートと異なり、検査の実施に関する客観的事実を記録するための情報である。検査情報として例えば、後述する図 9 (a) に示すように患者情報、検査種別、医師、検査室、検査日、検査開始時刻、検査終了時刻、スコープに関する情報などが記録される。洗浄情報記憶部 332 は、洗浄装置 50 から取得する洗浄情報を記憶する。洗浄情報として例えば、後述する図 9 (b) に示すように洗浄装置、洗浄員、洗浄開始時刻、洗浄終了時刻、スコープに関する情報などが記録される。

30

【0022】

時刻同期部 321 は内視鏡業務支援装置 30 のシステム時刻を管理する。時刻同期部 321 は、図示しないゲートウェイ装置を介してインターネット上の時刻サーバにアクセスし、内視鏡業務支援装置 30 のシステム時刻と当該時刻サーバの時刻とを同期させる。また時刻同期部 321 は、ネットワーク 2 を介して洗浄装置 50 にアクセスし、内視鏡業務支援装置 30 のシステム時刻と洗浄装置 50 の内部時刻とを同期させる。内視鏡業務支援装置 30 と洗浄装置 50 間の時刻同期は定期的に行われる。例えば 1 分毎に行われる。

40

【0023】

データ格納 322 は、内視鏡システム 10 から取得した検査情報を検査情報記憶部 331 に格納する。またデータ格納 322 は洗浄装置 50 から取得した洗浄情報を洗浄情報記憶部 332 に格納する。

【0024】

50

洗浄装置 50 の洗浄部 56 は、洗浄槽、消毒液タンク、ポンプ、弁、ホース等の洗浄を実際に行う部材の総称である。制御部 52 の時刻同期部 521 は、内視鏡業務支援装置 30 から送信されてくる時刻と、洗浄装置 50 の内部時刻とを同期させる。

【0025】

各スコープ 11 には自己を一意に特定するための識別情報が付されている。例えば、スコープ 11 のコードに R F I D (Radio Frequency IDentification) 方式の I C タグが取り付けられている。洗浄員はスコープ 11 のタグを、操作入力部 55 のタグ情報読取部 551 にかざしてスコープ 11 の識別情報をタグ情報読取部 551 に読み取らせる。また洗浄員は、自己が保持する身分証明書に付加されている I C タグをタグ情報読取部 551 にかざして、自己の識別情報をタグ情報読取部 551 に読み取らせる。

10

【0026】

制御部 52 の洗浄情報通知部 522 はスコープ 11 の洗浄が開始すると、タグ情報読取部 551 により読み取られたスコープ 11 の識別情報および洗浄員の識別情報、並びに洗浄開始時刻を含む洗浄情報を内視鏡業務支援装置 30 に通知する。なお通知された洗浄情報と同じ洗浄情報が記憶部 53 にも記憶される。洗浄情報通知部 522 はスコープ 11 の洗浄が終了すると、少なくとも洗浄終了時刻を含む洗浄情報を内視鏡業務支援装置 30 に通知する。表示部 54 には各種の情報が表示され、例えばスコープ 11 の残り洗浄時間が表示される。

【0027】

内視鏡業務支援装置 30 の制御部 32 は、洗浄装置 50 から洗浄情報を受信すると、当該洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻と、検査情報記憶部 331 に記憶される検査情報に含まれる検査終了時刻をもとに、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報を探索する。制御部 32 は、洗浄装置 50 から、洗浄終了時刻を含む洗浄終了を通知するための洗浄情報を受信する度に当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報を探索する。洗浄終了時刻を含む洗浄終了を通知するための洗浄情報は、先に取得された、洗浄開始時刻を含む洗浄開始を通知するための洗浄情報と統合される。以下、より具体的に説明する。

20

【0028】

検索部 323 は、関連付け対象の洗浄情報に含まれるスコープ 11 の識別情報と一致するスコープ 11 の識別情報を含む検査情報であり、当該検査情報に含まれる検査終了時刻が当該洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻より過去である検査情報であり、かつ別の洗浄情報に関連付けられていない検査情報を検索する。関連付け候補決定部 324 は、上述の検索条件を満たす検査情報の内、当該洗浄開始時刻に最も近い検査終了時刻を含む検査情報を、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報の候補に決定する。

30

【0029】

表示制御部 326 は、関連付け候補決定部 324 により決定された検査情報の候補を、洗浄情報に関連付けるか否かをユーザ（例えば、看護師）に選択させるための画面を、端末装置 40 の表示部 44 に表示させる。関連付け部 325 は、当該画面を見たユーザにより端末装置 40 の操作入力部 45 に対して同意操作がなされると、当該洗浄情報と当該検査情報を関連付ける。

【0030】

上述の検索条件を満たす検査情報が存在しない場合、関連付け候補決定部 324 は、当該洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻が、サマータイムから標準時間に切り替わってから両者の時差（米国では 1 時間）に相当する期間に含まれる時刻であるか否か判定する。米国では、サマータイムは 4 月の最初の日曜日（4月7日）から始まり 10 月の最終日曜日（10月5日）で終了する。4 月の最初の日曜日は A M 1 : 5 9 : 5 9 の次が A M 3 : 0 0 : 0 0 となる。即ち 4 月の最初の日曜日は A M 2 : 0 0 : 0 0 ~ A M 2 : 5 9 : 5 9 の間がスキップされ、1 時間進むことになる。10 月の最終日曜日は A M 1 : 5 9 : 5 9 の後、A M 1 : 0 0 : 0 0 に戻る。即ち 10 月の最終日曜日には A M 1 : 0 0 : 0 0 ~ A M 1 : 5 9 : 5 9 の期間が 2 回発生し、1 時間遅れることになる。

40

【0031】

50

当該洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻が、サマータイムから標準時間に切り替わってから両者の時差に相当する期間に含まれる時刻である場合、時刻換算部 3 2 7 は当該洗浄情報に含まれる標準時間の洗浄開始時刻をサマータイムの洗浄開始時刻に換算する。検索部 3 2 3 は、換算されたサマータイムの洗浄開始時刻を用いて再検索する。再検索により上述の検索条件を満たす検査情報がヒットした場合、関連付け候補決定部 3 2 4 は、サマータイムに換算された洗浄開始時刻に最も近い検査終了時刻を含む検査情報を、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報の候補に決定する。再検索によっても上述の検索条件を満たす検査情報がヒットしない場合、関連付け候補決定部 3 2 4 は、当該洗浄情報を検査と無関係に洗浄された、検査情報に関連付かない洗浄情報と判定する。

【 0 0 3 2 】

本実施の形態では上述の検査終了時刻として、その検査において使用されたスコープ 1 1 により患者の体内を撮影した最後の撮影時刻を使用する。検査終了時刻として、内視鏡処理装置 1 2 に設けられた検査終了ボタンを押下した時刻、看護師が内視鏡処理装置 1 2 に入力した患者の退室時刻などを使用することも考えられる。検査情報の記録としては最終撮影時刻を使用するよりむしろ望ましいが、洗浄情報と検査情報の関連付けの場面では最終撮影時刻を使用するほうが望ましい。

【 0 0 3 3 】

内視鏡検査では患者の体内からスコープ 1 1 を抜いた後に、患者のリカバリが必要である。またスコープ 1 1 を抜いた後に、患者に対して症状に関する説明を行う医師もいる。検査情報の記録としては患者のリカバリや患者への説明も検査に含め、それらを含めた検査の終了時刻を記録することがより正確な記録となる。ただし患者の体内からスコープ 1 1 を抜いた後に、すぐに洗浄にまわされる場合もある。スコープ 1 1 の本数が少ない医療施設で複数の検査が予約されている場合は、すぐに洗浄する必要性が高い。この場合、患者が退室した時刻より、スコープ 1 1 の洗浄開始時刻のほうが早くなる可能性があり、洗浄情報と検査情報の関連付けに不整合が発生する可能性がある。

【 0 0 3 4 】

この点、スコープ 1 1 の最終撮影時刻は、そのスコープ 1 1 の洗浄開始時刻より常になる関係があり、関連付けの不整合を抑制できる。またスコープ 1 1 の撮影時刻は、医師がスコープ 1 1 のリリースを切ったタイミングで撮影画像データに付与される。その撮影時刻はスコープ 1 1 により付与されるものであり信頼性が高い。検査終了ボタンの押下や看護師による入力など人為的な操作で検査終了時刻が入力される場合、医師や看護師が遅れて操作する可能性があり、実際の時刻とずれる可能性がある。

【 0 0 3 5 】

図 4 は、検査情報と洗浄情報の関連付け方法の基本概念を示す図である。内視鏡検査で使用されたスコープ 1 1 は必ず洗浄される必要があり、基本的に検査と洗浄はセットである。スコープ 1 1 は 1 日に複数回使用されることがあるが、その場合も 1 回の検査終了ごとにスコープ 1 1 を洗浄する必要がある。例外的に検査に関係なくスコープ 1 1 の洗浄が行われる場合がある。例えば開封後に初めて使用する場合や、長期間使用されずに保管されていたスコープ 1 1 を使用する場合などが該当する。

【 0 0 3 6 】

検査情報と洗浄情報の関連付け情報は、院内感染が発生した場合の原因究明や、医療過誤問題が発生した場合の医療従事者の作業証明などに活用される。従ってデータの改竄を防ぐ必要があり、安易な変更は認められない。

【 0 0 3 7 】

図 4 に示すように基本的に 1 つのスコープ 1 1 の検査情報と洗浄情報は 1 : 1 で関連付けられていく。図 4 ではスコープ 1 1 の識別情報としてスコープ名 (スコープモデル、型番) とスコープナンバーを使用している。上述のように本実施の形態では洗浄が終了する度に、洗浄装置 5 0 から内視鏡業務支援装置 3 0 が洗浄情報を受信し、その洗浄情報と関連付ける検査情報を探索する。上述の探索条件を適用する場合、当該洗浄情報と関連付けるべき検査情報の候補は基本的に、同じ識別情報を持つスコープ 1 1 を使用した直近の検

10

20

30

40

50

査の検査情報の1つとなる。

【0038】

ただし図4に示すように、洗浄開始時刻がサマータイムから標準時間に移行する日の2回目(標準時間)のAM1:00~AM1:59の期間内にあり、撮影終了時刻が1回目(サマータイム)のAM1:00~AM1:59の期間内にある場合、本来関連付けられるべき洗浄情報と検査情報が関連付けられない場合が発生する。

【0039】

図5は、サマータイムから標準時間に移行する日のAM2:00前後に発生した業務を時系列に記述した図である。図5には図4に示した、スコープ11の最終撮影時刻が1回目(サマータイム)のAM1:55であり、そのスコープ11の洗浄開始時刻が2回目(標準時間)のAM1:05である例を記述している。この場合、表記上の時刻を比較すると洗浄開始時刻のほうが先になっており矛盾が発生している。実際は両者は関連付けるべき情報であるが、関連付け候補にならない状態になっている。このように最終撮影時刻と洗浄開始時刻の間にサマータイムから標準時間に移行する日のAM2:00が挟まる場合、矛盾が発生する。この場合、当該洗浄情報は検査に関連付かない単独の洗浄情報として処理される。

10

【0040】

同じスコープ11を使用した次の検査が行われ、その検査で使用されたスコープ11の洗浄が終了すると新たな洗浄情報が生成され、内視鏡業務支援装置30に通知される。その時点で、その検査の検査情報がまだ蓄積されていない場合、新たな洗浄情報の関連付け候補に、最終撮影時刻がAM1:55の検査情報が挙がる。ユーザが誤ってこれらの関連付けを許可してしまうと、以後、全ての関連付けが1つずつずれることになる。後にこのずれを修正する場合、ずれている全ての洗浄情報について、手動で洗浄オーダを作成し直す必要があり、大きな手間が発生する。

20

【0041】

そこで本実施の形態では、サマータイムから標準時間に移行する日のAM1:00~AM1:59の期間内にある洗浄開始時刻を含む洗浄情報に対する検査情報の候補がヒットしない場合、当該洗浄開始時刻をサマータイムの洗浄開始時刻に換算して再検索する機能を追加している。即ち当該洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻に1時間プラスした時刻で再検索する。

30

【0042】

図6は、サマータイムから標準時間に移行する日のAM1:15の洗浄開始時刻を、AM2:15の洗浄開始時刻に換算することにより、AM1:55の最終撮影時刻を含む検査情報との関連付けが可能となる様子を示す図である。

【0043】

このような換算処理により、サマータイムの検査終了時刻を含む検査情報と、標準時間の洗浄開始時刻を含む洗浄情報の時刻に矛盾があっても関連付け候補となる。表示制御部326は、サマータイムの検査終了時刻を含む検査情報と、標準時間の洗浄開始時刻を含む洗浄情報の両方を画面に表示させる際、ユーザが両者の時刻表記の違いを認識できるように表示させる。例えば、違いを認識させるためのマークを表示させたり、色分けしたり、サマータイムと標準時間の2種類の時刻を表示させたりする。

40

【0044】

図7(a)-(d)は、サマータイムの最終撮影時刻を含む検査情報と、標準時間の洗浄開始時刻を含む洗浄情報を画面に表示させる際の表示例を示す図である。画面44a~d内の「関連付けステータス」において、「関連付け」は検査情報と洗浄情報の関連付けが既に完了しているステータスを示し、「関連付け候補」はユーザにサジェストしているステータスである。ユーザにより同意操作がなされると、「関連付け候補」「関連付け」に移行する。

【0045】

図7(a)、(b)はマーク表示の例を示す。図7(a)に示す画面44aでは、サマ

50

ータイムの最終撮影時刻と標準時間の洗浄開始時刻の組み合わせに星マークを付加している。その他の組み合わせは、いずれも最終撮影時刻と洗浄開始時刻の時刻表記が一致しておりマークを付加していない。図7(b)に示す画面44bでは、サマータイムの最終撮影時刻と標準時間の洗浄開始時刻の組み合わせにおいて、サマータイムの最終撮影時刻に(S)のマークを、標準時間の洗浄開始時刻に(W)のマークをそれぞれ付加している。

【0046】

図7(c)は色分け表示の例を示す。図7(c)に示す画面44cでは、サマータイムの最終撮影時刻と標準時間の洗浄開始時刻の組み合わせを、時刻表記が一致している最終撮影時刻と洗浄開始時刻の組み合わせを色分けして記述している。図7(d)は2種類表示の例を示す。図7(d)に示す画面44dでは、サマータイムの最終撮影時刻と標準時間の洗浄開始時刻の組み合わせにおいて、標準時間の洗浄開始時刻に加えてサマータイムの洗浄開始時刻を併記している。

10

【0047】

図8は、本発明の実施の形態に係る、洗浄情報と検査情報の関連付け処理の流れを示すフローチャートである。内視鏡業務支援装置30は洗浄装置50から洗浄情報を受信する(S10)。内視鏡業務支援装置30の検索部323は、洗浄情報に含まれるスコープの識別情報(例えば、スコープモデル及びスコープシリアルナンバー)と一致するスコープの識別情報を含む検査情報を検索する(S11)。検索部323はヒットした検査情報の内、他の洗浄情報と関連付けられておらず、関連付け候補にもなっていない検査情報を検索する。即ち、他の洗浄情報と関連付けられている、又は他の洗浄情報の関連付け候補となっている検査情報を除外する(S12)。検索部323は、ステップS12の処理を経た検査情報の内、「最終撮影時刻<洗浄開始時刻」となる検査情報を検索する(S13)。

20

【0048】

関連付け候補決定部324はステップS11、12、13の全ての検索条件を満たす検査情報が存在するか否か判定する(S14)。存在する場合(S14のY)、全ての検索条件を満たす検査情報の内、最終撮影時刻が洗浄開始時刻に最も近い検査情報を、当該洗浄情報の関連付け候補に決定する(S15)。表示制御部326は当該洗浄情報と、関連付け候補に決定された検査情報を画面に表示させて両者の関連付けをサジェストする(S16)。ユーザによる確認操作を受け付けると(S17)、関連付け部325は当該洗浄情報と当該検査情報を関連付ける(S18)。なおシステムエラーにより、対応しない洗浄情報と検査情報の関連付けがサジェストされた場合、ユーザは拒否操作を行うことにより両者の関連付けを中止できる。

30

【0049】

ステップS14にてステップS11、12、13の全ての検索条件を満たす検査情報が存在しない場合(S14のN)、関連付け候補決定部324は、当該洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻が、サマータイムから標準時間に切替直後のAM1:00~AM2:00の間の時刻であるか否か判定する(S20)。洗浄開始時刻が標準時間に切替直後のAM1:00~AM2:00の間の時刻である場合(S20のY)、時刻換算部327は標準時間の洗浄開始時刻をサマータイムの洗浄開始時刻に換算する(S21)。検索部323は検査開始時刻が、サマータイムから標準時間への切替日のサマータイムのAM1:00~AM1:59の間の時刻にある検査情報を検索する(S22)。ステップS21、22の処理において必要なサマータイム日時の情報は設定ファイルにより変更可能である。検索部323は、ステップS22の条件を満たす検査情報の内、「最終撮影時刻<洗浄開始時刻」となる検査情報を検索する(S23)。

40

【0050】

関連付け候補決定部324はステップS22、23の全ての検索条件を満たす検査情報が存在するか否か判定する(S24)。存在する場合(S24のY)、全ての検索条件を満たす検査情報の内、最終撮影時刻が洗浄開始時刻に最も近い検査情報を、当該洗浄情報の関連付け候補に決定する(S15)。表示制御部326は当該洗浄情報と、関連付け候

50

補に決定された検査情報を画面に表示させて両者の関連付けをサジェストする（S 1 6）。ユーザによる確認操作を受け付けると（S 1 7）、関連付け部 3 2 5 は当該洗浄情報と当該検査情報を関連付ける（S 1 8）。

【 0 0 5 1 】

ステップ S 2 0 にて当該洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻が、サマータイムから標準時間に切替直後の AM 1 : 0 0 ~ AM 2 : 0 0 の間の時刻でない場合（S 2 0 の N）、またはステップ S 2 4 にてステップ S 2 2、2 3 の全ての検索条件を満たす検査情報が存在しない場合（S 2 4 の N）、関連付け候補決定部 3 2 4 は当該洗浄情報を、検査に関係なく洗浄された単独洗浄と判定する（S 3 0）。

【 0 0 5 2 】

図 9（a） - （b）は関連付け後の検査情報と洗浄情報の一例を示す図である。図 9（a）は検査情報の一例を、図 9（b）は洗浄情報の一例をそれぞれ示している。各検査情報は検査情報 ID で管理され、各洗浄情報は洗浄情報 ID で管理される。検査情報と洗浄情報が関連付けられると当該検査情報に、関連付けられた洗浄情報の洗浄情報 ID が追加される。同様に当該洗浄情報に、関連付けられた検査情報の検査情報 ID が追加される。

【 0 0 5 3 】

以上説明したように本実施の形態では基本処理として、最終撮影時刻と洗浄開始時刻を比較し、最終撮影時刻が洗浄開始時刻よりも過去の時刻であり、かつ洗浄開始時刻が最終撮影時刻に最も近い洗浄情報と関連付けする。例外処理として、サマータイムから標準時間にシステム時刻が戻る日に限り、最終撮影時刻がサマータイムの AM 2 : 0 0 前であり、かつその検査で使用したスコープの洗浄開始時刻が標準時間の AM 1 : 0 0 ~ 2 : 0 0（サマータイムの AM 2 : 0 0 ~ 3 : 0 0）の場合であっても、洗浄情報と検査情報の関連付けのサジェストを行う。

【 0 0 5 4 】

この場合、以下の全ての条件を満たす検査情報にサジェストする。

（1）検査情報に含まれるスコープの識別情報と洗浄情報に含まれるスコープの識別情報が一致する。

（2）検査情報が、関連付け候補として他の洗浄情報にサジェストまたは関連付けされていない。

（3）検査の最終撮影時刻がサマータイムの AM 2 : 0 0 以前であり、洗浄開始時刻が標準時間に切替後の AM 1 : 0 0 ~ 2 : 0 0 である。

【 0 0 5 5 】

これにより、システム時刻がサマータイムから通常時刻に戻るとき、関連付け未実施データを残すことなく、検査情報と洗浄情報を正確に関連付けすることが可能になる。また検査情報と洗浄情報が 1 つずつずれて関連付けされてしまうことを抑制できる。

【 0 0 5 6 】

以上、本発明を実施の形態をもとに説明した。この実施の形態は例示であり、それらの各構成要素や各処理プロセスの組合せにいろいろな変形例が可能なこと、またそうした変形例も本発明の範囲にあることは当業者に理解されるところである。

【 0 0 5 7 】

サマータイムは米国だけでなく欧州の多くの国でも採用されている。欧州のサマータイム期間は 3 月の最終日曜日 AM 1 : 0 0 ~ 1 0 月の最終日曜日の AM 1 : 0 0 の間である。1 0 月の最終日曜日の AM 1 : 0 0 を跨ぐ、検査情報と洗浄情報の関連付け処理について本実施の形態に係る処理を適用できる。

【 符号の説明 】

【 0 0 5 8 】

1 内視鏡業務支援システム、 2 ネットワーク、 1 0 内視鏡システム、 1 1 スコープ、 1 2 内視鏡処理装置、 1 3 表示装置、 3 0 内視鏡業務支援装置、 3 1 通信部、 3 2 制御部、 3 2 1 時刻同期部、 3 2 2 データ格納、 3 2 3 検索部、 3 2 4 関連付け候補決定部、 3 2 5 関連付け部、 3 2 6 表

10

20

30

40

50

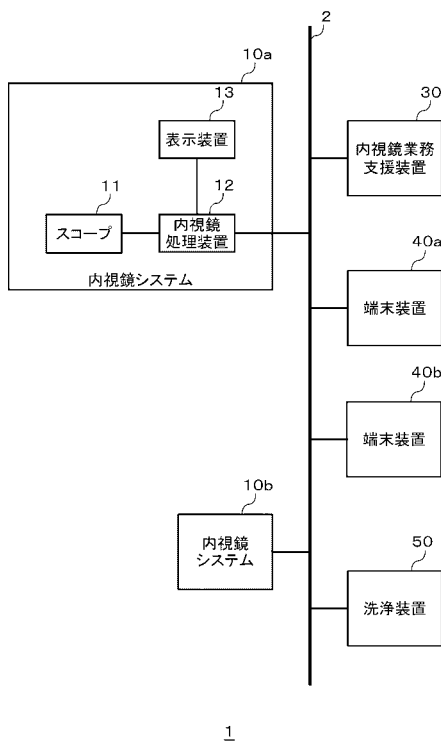
示制御部、 3 2 7 時刻換算部、 3 3 記憶部、 3 3 1 検査情報記憶部、 3 3 2 洗浄情報記憶部、 4 0 端末装置、 4 1 通信部、 4 2 制御部、 4 3 記憶部、 4 4 表示部、 4 5 操作入力部、 5 0 洗浄装置、 5 1 通信部、 5 2 制御部、 5 2 1 時刻同期部、 5 2 2 洗浄情報通知部、 5 3 記憶部、 5 4 表示部、 5 5 操作入力部、 5 5 1 タグ情報読取部、 5 6 洗浄部。

【産業上の利用可能性】

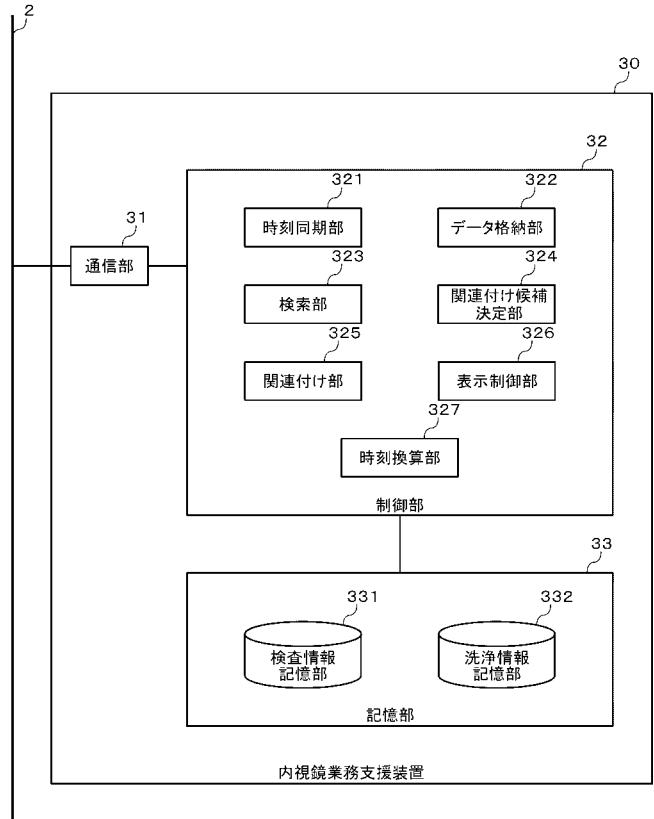
【0059】

本発明は、内視鏡業務部門システムに利用可能である。

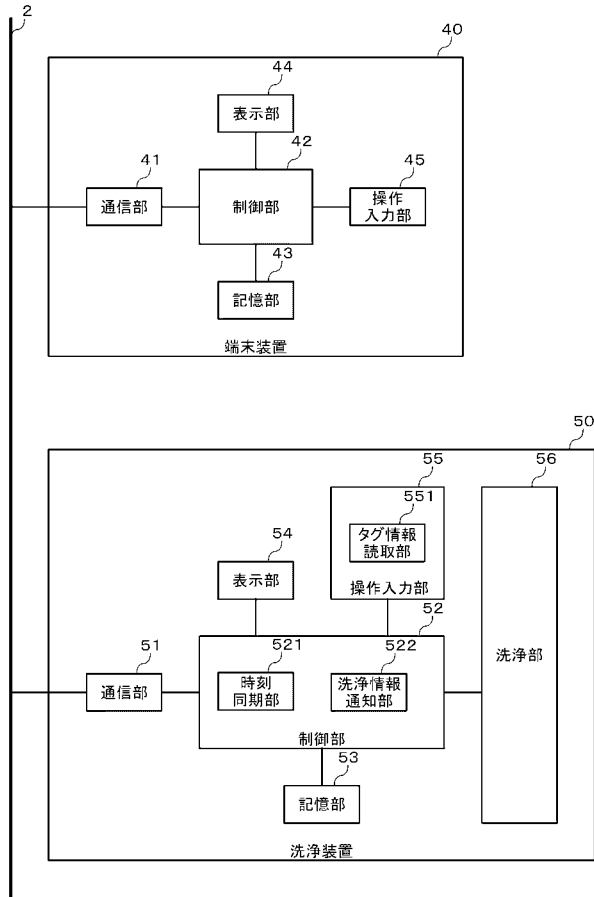
【図 1】



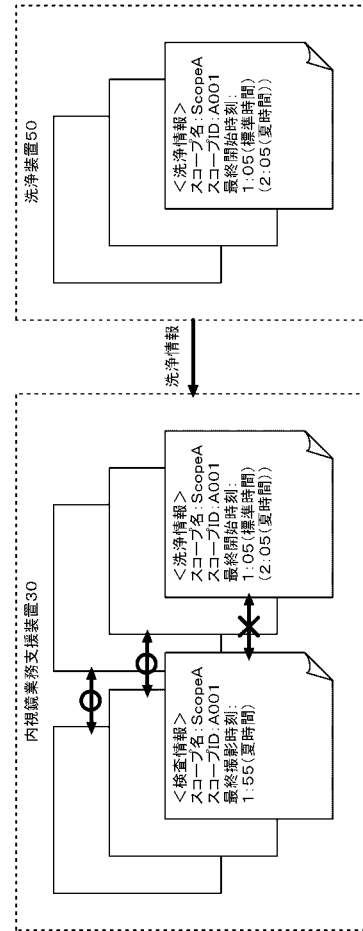
【図 2】



【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】

夏時間	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00
標準時間			1:00	2:00	3:00	4:00
		★ 1:55 ★ 最終撮影	★ 1:05 ★ 洗浄開始	★ 1:35 ★ 洗浄終了		

標準時間へ切り替え

【 図 6 】

<検査情報>			<洗浄情報>		
最終撮影時刻	スコープモデル	スコープNo.	洗浄開始時刻	スコープモデル	スコープNo.
23:50	ScopeA	A001	0:05	ScopeA	A001
0:10	ScopeB	B001	0:15	ScopeB	B001
1:15	ScopeC	C001	1:20	ScopeC	C001
1:55	ScopeA	A001	1:05	ScopeA	A001

1:05(W)-2:05(S)

【 図 7 】

関連付けステータス	スコープモデル	スコープNo.	最終撮影時刻	洗浄開始時刻
関連付け	ScopeA	A001	23:50	0:05
関連付け候補	ScopeB	B001	0:10	0:15
関連付け候補	ScopeC	C001	1:15	1:20
関連付け候補	ScopeA	A001	★ 1:55	★ 1:05

(a)

関連付けステータス	スコープモデル	スコープNo.	最終撮影時刻	洗浄開始時刻
関連付け	ScopeA	A001	23:50	0:05
関連付け候補	ScopeB	B001	0:10	0:15
関連付け候補	ScopeC	C001	1:15	1:20
関連付け候補	ScopeA	A001	1:55 (S)	1:05 (W)

(b)

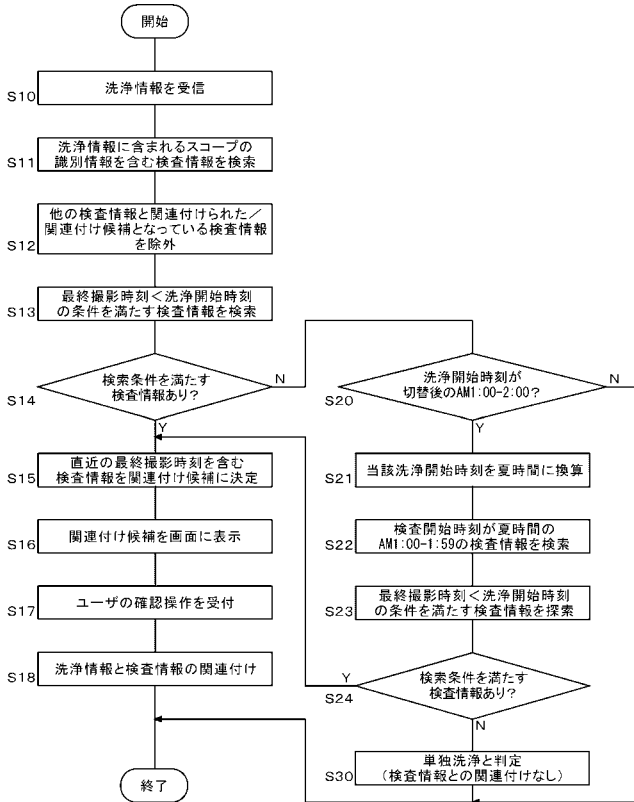
関連付けステータス	スコープモデル	スコープNo.	最終撮影時刻	洗浄開始時刻
関連付け	ScopeA	A001	23:50	0:05
関連付け候補	ScopeB	B001	0:10	0:15
関連付け候補	ScopeC	C001	1:15	1:20
関連付け候補	ScopeA	A001	1:55	1:05

(c)

関連付けステータス	スコープモデル	スコープNo.	最終撮影時刻	洗浄開始時刻
関連付け	ScopeA	A001	23:50	0:05
関連付け候補	ScopeB	B001	0:10	0:15
関連付け候補	ScopeC	C001	1:15	1:20
関連付け候補	ScopeA	A001	1:55 (S)	2:05 (W)

(d)

【 図 8 】



【 図 9 】

検査情報		検査情報		検査情報	
検査情報ID	患者情報	検査種別	医師	検査種別	医師
E001	*****	ScopeA	*****	ScopeA	*****
E002	*****	ScopeB	*****	ScopeB	*****
E003	*****	ScopeC	*****	ScopeC	*****
E004	*****	ScopeA	*****	ScopeA	*****

検査情報		検査情報	
検査情報ID	患者情報	検査種別	医師
W001	*****	ScopeA	*****
W002	*****	ScopeB	*****
W003	*****	ScopeC	*****
W004	*****	ScopeA	*****

検査情報		検査情報	
検査情報ID	患者情報	検査種別	医師
F001	*****	ScopeA	*****
F002	*****	ScopeB	*****
F003	*****	ScopeC	*****
F004	*****	ScopeA	*****

(a)

(b)

【 手続補正書 】

【 提出日 】平成28年1月28日(2016.1.28)

【 手続補正 1 】

【 補正対象書類名 】特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】全文

【 補正方法 】変更

【 補正の内容 】

【 特許請求の範囲 】

【 請求項 1 】

内視鏡システムから取得する検査情報を記憶する検査情報記憶部と、  
 内視鏡を洗浄するための洗浄装置から洗浄情報を受信すると、当該洗浄情報に含まれる  
 洗浄開始時刻と、前記検査情報記憶部に記憶される検査情報に含まれる検査終了時刻をも  
 とに、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報を探索する制御部と、を備え、

前記制御部は、

前記洗浄情報に含まれる内視鏡の識別情報に対応する内視鏡の識別情報を含む検査情報  
 であり、当該検査情報に含まれる検査終了時刻が前記洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻よ  
 り過去である検査情報を検索する検索部と、

検索条件を満たす検査情報の内、前記洗浄開始時刻に最も近い検査終了時刻を含む検査  
 情報を、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報の候補に決定する候補決定部と、

前記検索条件を満たす検査情報が存在せず、かつ前記洗浄開始時刻が、夏時間から標準  
 時間に切り替わってから両者の時差に相当する期間に含まれる時刻である場合、前記両者  
 の時差に基づき前記洗浄情報に含まれる標準時間の洗浄開始時刻と前記検査終了時刻とが  
 整合がとれるように換算する時刻換算部と、を含み、

前記検索部は、前記時刻換算部の換算結果に基づき再検索することを特徴とする内視鏡  
 業務支援装置。

## 【請求項 2】

前記時刻換算部は、前記検索条件を満たす検査情報が存在せず、かつ前記洗浄開始時刻が、夏時間から標準時間に切り替わってから両者の時差に相当する期間に含まれる時刻である場合、前記洗浄情報に含まれる標準時間の洗浄開始時刻を夏時間の洗浄開始時刻に換算し、

前記検索部は、換算された夏時間の洗浄開始時刻を用いて再検索することを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡業務支援装置。

## 【請求項 3】

前記制御部は、前記洗浄装置から洗浄情報を受信する度に、当該洗浄情報に関連付けるべき検査情報を探索し、

前記検索部は、前記洗浄情報に含まれる内視鏡の識別情報に対応する内視鏡の識別情報を含む検査情報であり、当該検査情報に含まれる検査終了時刻が前記洗浄情報に含まれる洗浄開始時刻より過去である検査情報であり、かつ別の洗浄情報に関連付けられていない検査情報を検索することを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡業務支援装置。

## 【請求項 4】

前記検査情報に含まれる検査終了時刻は、その検査において内視鏡により患者の体内を撮影した最後の撮影時刻で規定されることを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡業務支援装置。

## 【請求項 5】

前記制御部は、

前記候補決定部により決定された検査情報の候補を、前記洗浄情報に関連付けるか否かをユーザに選択させるための画面を表示させる表示制御部を、さらに備え、

前記表示制御部は、夏時間の検査終了時刻を含む検査情報と、標準時間の洗浄開始時刻を含む洗浄情報を画面に表示させる際、ユーザが両者の時刻表記の違いを認識できるように表示させることを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡業務支援装置。

## 【国際調査報告】

<b>INTERNATIONAL SEARCH REPORT</b>		International application No. PCT/JP2015/063456
<b>A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER</b> A61B1/12(2006.01)i, A61B1/04(2006.01)i, G04G99/00(2010.01)i, G06Q50/22(2012.01)i  According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
<b>B. FIELDS SEARCHED</b> Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A61B1/12, A61B1/04, G04G99/00, G06Q50/22  Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2015 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2015 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2015  Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
<b>C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT</b>		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2009-95502 A (Fujifilm Corp.), 07 May 2009 (07.05.2009), paragraph [0055] & US 2009/0103836 A1 & EP 2050412 A1	1-4
A	JP 2002-28132 A (Olympus Optical Co., Ltd.), 29 January 2002 (29.01.2002), paragraphs [0051] to [0085] & US 2001/0041825 A1 & EP 1153568 A2 & DE 60123516 D	1-4
A	JP 2001-46326 A (Olympus Optical Co., Ltd.), 20 February 2001 (20.02.2001), paragraphs [0090] to [0155] & US 6436032 B1	1-4
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 14 July 2015 (14.07.15)		Date of mailing of the international search report 21 July 2015 (21.07.15)
Name and mailing address of the ISA/ Japan Patent Office 3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915, Japan		Authorized officer  Telephone No.

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

International application No.

PCT/JP2015/063456

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2002-34906 A (Olympus Optical Co., Ltd.), 05 February 2002 (05.02.2002), entire text; all drawings & US 6638212 B1	1-4
A	JP 2009-216697 A (Daikin Industries, Ltd.), 24 September 2009 (24.09.2009), entire text; all drawings (Family: none)	1-4

国際調査報告		国際出願番号 PCT/J P 2 0 1 5 / 0 6 3 4 5 6									
A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. A61B1/12(2006.01)i, A61B1/04(2006.01)i, G04G99/00(2010.01)i, G06Q50/22(2012.01)i											
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. A61B1/12, A61B1/04, G04G99/00, G06Q50/22											
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの <table border="0"> <tr> <td>日本国実用新案公報</td> <td>1922-1996年</td> </tr> <tr> <td>日本国公開実用新案公報</td> <td>1971-2015年</td> </tr> <tr> <td>日本国実用新案登録公報</td> <td>1996-2015年</td> </tr> <tr> <td>日本国登録実用新案公報</td> <td>1994-2015年</td> </tr> </table>				日本国実用新案公報	1922-1996年	日本国公開実用新案公報	1971-2015年	日本国実用新案登録公報	1996-2015年	日本国登録実用新案公報	1994-2015年
日本国実用新案公報	1922-1996年										
日本国公開実用新案公報	1971-2015年										
日本国実用新案登録公報	1996-2015年										
日本国登録実用新案公報	1994-2015年										
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)											
C. 関連すると認められる文献											
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号									
A	JP 2009-95502 A (富士フイルム株式会社) 2009.05.07, 段落【0055】 & US 2009/0103836 A1 & EP 2050412 A1	1-4									
A	JP 2002-28132 A (オリンパス光学工業株式会社) 2002.01.29, 段落【0051】 - 【0085】 & US 2001/0041825 A1 & EP 1153568 A2 & DE 60123516 D	1-4									
A	JP 2001-46326 A (オリンパス光学工業株式会社) 2001.02.20, 段落【0090】 - 【0155】 & US 6436032 B1	1-4									
<input checked="" type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。		<input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。									
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願		の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」同一パテントファミリー文献									
国際調査を完了した日 14.07.2015		国際調査報告の発送日 21.07.2015									
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官 (権限のある職員) 松谷 洋平	2 Q 3 4 1 0								
		電話番号 03-3581-1101	内線 3292								

国際調査報告		国際出願番号 PCT/J P 2 0 1 5 / 0 6 3 4 5 6
C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリ*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2002-34906 A (オリンパス光学工業株式会社) 2002.02.05, 全文、全図 & US 6638212 B1	1-4
A	JP 2009-216697 A (ダイキン工業株式会社) 2009.09.24, 全文、全図 (ファミリーなし)	1-4

## フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US

(72)発明者 遠藤 義英

東京都渋谷区幡ヶ谷 2 丁目 4 3 番 2 号 オリパス株式会社内

Fターム(参考) 2F002 AA00 GA02 GA04

4C161 GG10 JJ18 NN05 WW14 YY07 YY13 YY14 YY18

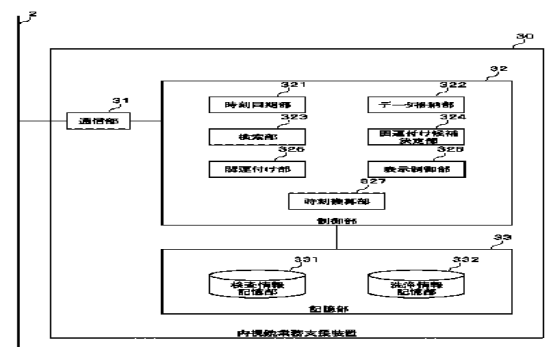
5L099 AA03

(注)この公表は、国際事務局(WIPO)により国際公開された公報を基に作成したものである。なおこの公表に係る日本語特許出願(日本語実用新案登録出願)の国際公開の効果は、特許法第184条の10第1項(実用新案法第48条の13第2項)により生ずるものであり、本掲載とは関係ありません。

专利名称(译)	内视镜业务支援装置		
公开(公告)号	<a href="#">JPWO2016017227A1</a>	公开(公告)日	2017-04-27
申请号	JP2016504232	申请日	2015-05-11
[标]申请(专利权)人(译)	奥林巴斯株式会社		
申请(专利权)人(译)	奥林巴斯公司		
[标]发明人	高橋佳子 尾本昌和 遠藤義英		
发明人	高橋 佳子 尾本 昌和 遠藤 義英		
IPC分类号	A61B1/12 G06Q50/22 G04G99/00		
CPC分类号	A61B1/121 G06Q10/20 G06Q50/10 G16H30/20 G16H40/20 G16H40/40 A61B1/04 B08B9/027 G05B19/042 G05B2219/45118		
FI分类号	A61B1/12 G06Q50/22.104 G04G1/00.313.B		
F-TERM分类号	2F002/AA00 2F002/GA02 2F002/GA04 4C161/GG10 4C161/JJ18 4C161/NN05 4C161/WW14 4C161/YY07 4C161/YY13 4C161/YY14 4C161/YY18 5L099/AA03		
代理人(译)	森下Kenju 三木 友由		
优先权	2014157397 2014-08-01 JP		
其他公开文献	JP5933870B1		
外部链接	<a href="#">Espacenet</a>		

摘要(译)

搜索单元323是包括与清洁信息中包括的内窥镜识别信息相对应的内窥镜识别信息的检查信息，并且检查信息中包括的检查结束时间是清洁信息中包括的清洁开始时间。搜索较旧的检查信息。关联候选确定单元324将满足搜索条件的检查信息当中包括最接近清洁开始时间的检查结束时间的检查信息确定为要与清洁信息相关联的检查信息的候选。时间转换单元327将清洁信息中包括的标准时间清洁开始时间转换为夏季时间清洁开始时间。搜索单元323使用转换后的夏时制开始时间再次搜索。



- 30 Endoscope operation assistance device
- 31 Communication unit
- 32 Control unit
- 33 Storage unit
- 321 Timing synchronization unit
- 322 Data retaining unit
- 323 Search unit
- 324 Association candidate determination unit
- 325 Association unit
- 326 Display control unit
- 327 Timing conversion unit
- 328 Examinations information storage unit
- 329 Washing information storage unit